看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『プリセプティ研修（ステップⅢ）』
# 研修会実施報告

日時　　：令和 2 年　3 月　6 日(金)　13：00～17：00
対象者　　：卒後１年
参加者数　：9 名
目的　　：自己の看護を振り返り、２年目の目標が明確になり、成長に繋げる

## ＜講師の紹介＞

新人教育委員会メンバー
　外来診療科　主査
　２Ｂ病棟　　主査

キャリア開発委員会より
　副看護局長

## ＜内容＞

プリセプティ研修も最後のステップⅢとなり、１年間の振り返りから始まりました。１年間を振り返ると、できるようになったことが増え、プライマリーナースとしての役割も少しずつ果たせるようになってきましたが、つらかったことや、課題と感じている事も多く、ストレス度チェックでも、皆それぞれ少なからずストレスを抱えていることがわかりました。研修の中で、講師から「ちゃんと勤務に来て仕事を続けているだけでも頑張っていると思っていいんだよ」と教えられた事や、出来るようになった事を振り返る事で自身の成長を感じる事もでき、励みになったのではないかと思います。

また、３年後にどんな看護師になりたいかを考え、自分がクリニカルラダーレベルⅠの評価項目では、どこまで到達できているかを確認し、できるようになるためにはどうすれば良いかをグループで話し合ったことで、自己の次年度の目標や達成に向けての具体的な取り組みも見えてきました。スキルアップに向けて２年目も頑張ってほしいと思います。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『伝達講習』
# 研修会実施報告

日時：令和 2 年 2 月 26 日（水）17：30　～　18：40
対象者：全体研修
参加者数：35 名
目的：　看護学会・研修での学びを伝達し共有することができる。

## ＜発表：学会研修参加者＞

| | | |
|---|---|---|
| 1． | 日本透析医学会　学術集会 | 透析センター　Ns |
| 2． | 日本看護学会　ヘルスケアプロモーション | 2B 病棟　Ns |
| 3． | 日本看護学会　看護管理 | 中央手術室　Ns |
| 4． | 日本看護学会　在宅看護 | 4A 病棟　Ns |
| 5． | 日本看護学会　急性期看護 | 5B 病棟　Ns |
| 6． | 日本看護学会　看護教育 | 5A 病棟　Ns |
| 7． | 日本手術看護学会 | 中央手術室　Ns |
| 8． | 実習指導者講習会 | 2A 病棟　Ns |
| 9． | ファーストレベル研修 | 4A 病棟　Ns |
| 10． | 奈良県看護職認知症対応能力向上研修 | 5A 病棟　Ns |
| 11． | 自治体病院看護管理者研修 | 2B 病棟　Ns |
| 12． | 日本医療マネジメント学会 | 3A 病棟　Ns |

## ＜内容＞

はじめに「令和元年度日本看護学会：在宅看護」で論文採択された 4A 病棟 S さん、I さんの表彰式が行われました。その後今年度、学会・研修会に参加された多くの方の中から 12 名の方に発表していただきました。急性期から慢性期、教育、管理、そして専門分野に関する内容等、多岐にわたる内容をそれぞれが工夫されたプレゼンテーションで情報提供されました。多忙な中ではありますが、このような機会を持つことにより新しい学びや情報を共有することが出来たと思います。学んだ内容を活かし、さらに活躍されることを期待しています。お疲れ様でした。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『認知症看護研修』
# 研修会実施報告

日時　　：平成 2020 年 2 月 15 日（土　）9：00～16：00
対象者　：全体（一部対象者）
参加者数：22 名（一般参加１５名　うち３名は午前中のみ、対象者７名）
目的　　：認知症患者の看護に必要な基本的な知識と適切なケアについて学ぶ

## ＜講師の紹介＞

兵庫県看護協会　認定教育課程
専任教員・認知症看護認定看護師
吉見　　薫　先生

## ＜内容＞

最初に、基本的な知識として、「脳の機能」・「認知症とは」について講義がありました。認知症の症状として認知機能障害と行動・心理症状について教えていただいた後 DVD を見て、それらの行動や症状を具体的に学ぶことができました。

午後からは、情報取集の重要性を認識したあと、アセスメントとケアの方向性をグループで考え、発表を行いました。

患者さんのできないところの１側面だけを見るのではなく、できる能力は何なのか、なぜそのような行動に出たのかをみんなで考えてみることや、できる対策を１つでもやってみて、評価・修正していくことが大切であると学びました。

これから看護の現場で、学んだことを実践へと結びつけ、看護の質が上がることを期待しています。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『集中ケア』研修会実施報告

日時　　：令和２年２月３日　9：00～12：00
対象者　：卒後５年以上
参加者数：対象者 37 名　一般参加者３名
テーマ　：集中ケア
目的　　：患者の生体反応の理解を深め看護ケアに活かすことができる

## ＜講師の紹介＞

集中ケア認定看護師　主任
2009 年大和高田市立病院入職後
2016 年集中ケア認定看護師資格を取得
現在は２Ａ病棟で活躍されています

## ＜内容＞

講義では呼吸器症状の増悪が患者の急変のサインとなり、観察を強化することで患者の異常を早期に発見することができることを学びました。また呼吸や循環について観察したことがどのようなエビデンスで、状態の把握やアセスメントにつながるかを学ぶことが出来ました。機械から得られる数値だけではなく、患者の観察から得られる情報を根拠に、アセスメントを行いケアにつなげることの大切さや重要性を学べた講義でした。この学びを各部署で伝達され、看護の質の向上につながることを期待したいと思います。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『2019 年度　看護研究発表』
# 実施報告

日時　　：令和 2 年　1 月　25 日（土）9：00～12：00
対象者　：卒後 4 年目・研究担当病棟
参加者数：対象者 10 名・アドバイザー3 名・フロア 6 名・一般参加者 35 名
　　計 59 名
目的　　：　看護研究の学びの成果を発表し実践に活かすことができる

## ＜講師の紹介＞

山陽学園大学　　中木里実先生
順天堂大学　　平岡玲子先生
畿央大学　　福森貢先生
今回それぞれの先生方に講評をしていただきました。
次年度も引き続きご指導いただきます。

## ＜内容＞

今年度の研究発表は部署研究 3 題・卒後研究 4 題を行いました。それぞれのグループが共同研究者と協力、試行錯誤しながら発表に向けて努力された様子が伺えました。発表された研究は今後の看護に活かせる内容であり質疑応答も活発に行われていました。先生方には「今回研究したことをさらに発展し、研究の楽しさを実感してほしい。多忙な中作り上げてきたことは素晴らしい」と評価していただきました。

今後は学会発表に向けて頑張りましょう。

看護研究に取り組まれた皆さん、1 年間お疲れ様でした。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『フットケア研修』
# 研修会実施報告

日時　　：2019 年 12 月 13 日
対象者　：卒後５年目以上・介護福祉士
参加者数：49 名
目的　　：下肢病変を起こすリスクの高い患者の適切なケアを学ぶ

## ＜講師の紹介＞

人工透析センター　主査

糖尿病重症化予防（フットケア）の研修を履修
月１回、人工透析センター通院患者 10 名程度の
フットケアに従事されています。

## ＜内容＞

今回の講義では、フットケアが必要な足病変の種類と原因や症状を具体的に学び、それに伴う主な検査と治療の基本的な知識を学習しました。更に日常行うフットケアの必要性や介入方法を学習し、日常ケアの重要性を改めて認識する機会となりました。各論では、足病変のリスク要因、症状別フットケア方法など、全てにおいて実践的で、臨床において即座に活用できる興味深い内容でした。受講生からは、「改めてセルフケアの必要性を感じることが出来た」「フットケアが転倒防止や人間関係、信頼、ADL 拡大につながる事を学んだ」「個別性をもったケアが必要であり、その為には患者を知ることが大切であることが理解出来た」、等の学びがありました。人工透析センターで行われているフットケアの場面や、実際のフットケアを行う映像もあり、とても参考になったと思います。フットケアを行う時間を作ることがなかなか難しい現状もありますが、フットケアが疾患全体に及ぼす影響を理解し、患者に関わっていけるよう取り組んでいってほしいと思います。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『看護研究第５回目』研修会実施報告

日時　　：令和元年 12 月 7 日（土）
対象者　：卒後４年スタッフ９名　アドバイザー3 名　部署研究スタッフ８名
参加者数：20 名
目的　　：看護研究の取り組み方法と実際を知り、看護の創造性を養う事ができる

## ＜講師の紹介＞

山陽学園大学 中木里実先生、
順天堂大学 平岡玲子先生にご指導
いただきました。
そして畿央大学　福森貢先生には
午前の研修をご指導いただきました。

## ＜内容＞

【看護研究発表演題】
〈卒後４年目研究：４題〉
1 グループ：小児科病棟の点滴管理に関するﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄの見直し - 改善と説明方法の検討 -
2 グループ：ｲﾝｼﾃﾞﾝﾄ予防を目的とした KYT の導入に向けて-KYT 導入後のｶﾝﾌｧﾚﾝｽへの取り組みについて-
3 グループ：新人看護師のｽﾄﾚｽ要因についての実態調査と対処方法についての検討
4 グループ：A 病院におけるﾌﾟﾘｾﾌﾟﾃｨが求める精神的支援と現状の相違
〈部署研究：３題〉
3B 病棟：急性期外科病棟におけるｽﾄｰﾏｹｱに対する看護師の認識
4A 病棟：地域包括ｹｱ病棟における生活ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝに対する実態調査
4B 病棟：医療安全の観点からみた時間短縮勤務者退勤後の PNS 導入前後のｲﾝｼﾃﾞﾝﾄ調査

院内看護研究発表を来月に控え、最後の研修となった今回の研修は、卒後４年目の各グループがまとめてきた論文の発表から始まりました。本番同様にパワーポイントを使用しながらの発表を行い、質疑応答では講師の先生と有意義な意見交換が行われました。その後は各グループにわかれ、中木先生や平岡先生、アドバイザーから指導をいただきながら論文の完成を目指しました。福森先生からは、研究結果をいかにわかりやすく文章や図・グラフ等で表現していくかなどについてご指導いただきました。今回は部署研究のスタッフも多く参加し、講師の先生に助言を受けながら最後のおい込みに取り組みました。グループメンバーで協力し、論文完成に向けて頑張ってください。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『プリセプティ研修（ステップⅡ）』
# 研修会実施報告

日時　　：令和 元年　12 月　5 日　8：30～17：15
対象者　：卒後 8 か月
参加者数：10 名
目的　　：1. 組織やチーム内での自分の役割を認識しメンバーの一員として行動できる
　　2. 自己目標が明確になり、自己の成長に繋げる
　　3. シミュレーションを通して自らの行動を振り返り、根拠に基づいた看護の必要性を理解する

## ＜講師の紹介＞

新人教育委員会メンバー
　午前
　２Ａ病棟　主査
　４Ａ病棟　主任
　午後
　３Ａ病棟　主査
　３Ｂ病棟　主任
記録委員会メンバー

## ＜内容＞

病院の理念や看護局の目標を再確認するとともに、チームワークについても学び、組織の中での自分の役割を認識することで今後の課題も見出すことができました。また、報告・連絡・相談や指示の受け方について、ゲーム形式で情報を伝え合うことで、効果的に情報共有するにはどうすれば良いかも体感できました。

KYT やシミュレーション研修では、患者の状態に合わせた観察の視点や優先順位をグループでアセスメントし、どんな危険が潜んでいるのか、危険を回避するにはどうすれば良いかを話し合いました。実際の臨床現場の DVD を視聴し、より現場に近い状態で考察や振り返りを行い、グループで知識を統合することで実践力の向上につながる学びができました。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『看護局の展望　研修』
# 研修会実施報告

日時：令和元年 11 月 21 日（木）17：30　～　18：30
対象者：全体研修
参加者数：40 名
目的：　看護の動向を学び、看護の質の向上を図る

## ＜講師の紹介＞

**認定看護管理者　看護局長**

## ＜内容＞

2019 年度から看護局長に就任された田中早苗看護局長より、「令和元年度の看護局の概要」「医療・看護の動向」「大和高田市立病院・看護局における将来展望」についてご講義いただきました。

はじめに「看護局の概要」として看護職員の背景や離職率、有休取得率等の働く環境、看護職員の活動の現状について紹介されました。次に自施設だけでなく現在の医療・看護の状況についてわかりやすく説明され、地域の中核病院としてどのようなニーズに対応していくべきなのか、改めて考える機会となりました。日本看護協会では 2025 年ではなく 2040 年を見据えた看護の在り方が検討されはじめており、地域医療を支える私たちの求められる役割はより多種多様化・高度化していくことが予測されます。医療提供体制が急速に変化していく中で、私たち看護師はチーム医療の中心としての役割発揮が期待されています。

今後も一人ひとりが努力し自分自身も大切にしながら活気ある看護局となるように、共に頑張っていきたいと思います。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『発達障害研修』
# 研修会実施報告

日時　　：令和１年 11 月 16 日（土）9 時～16 時（15 時～ディスカッション）
対象者　：ラダーⅢレベル
参加者数：49 名　（対象者 41 名、一般 8 名）
研修名　：発達障害研修
目的　　：発達障害・適応障害についてその特性の理解を深め、
　　臨床現場や生活で遭遇する対象者との適切な対応方法を学ぶ。

## ＜講師の紹介＞

白石　邦明
筑波大学名誉教授である宗像恒次博士に師事しカウンセリングの理論と実践を学び、カウンセリングルーム　acceptance カウンセラーとして活躍。高確率コーチング・トレーナー、発達障害コンサルタント、米国神経言語プログラミング協会認定　マスタープラクティショナーのライセンスを持ち、スタッフ育成に悩む院内管理者研修やモチベーションアップ、メンタルヘルス対策でも活躍中です。

## ＜　内　容　＞

今回の研修は、発達障害の種類とその特徴、そしてその人たちとの関わり方について、どのような方法があるのかについて学びました。まずはじめに、モラルで行うのではない「あいさつ」が必要であること。そして相手を観察し、「あいさつ」のあとには、必ず一言を添えることが大事であり、そのことにより信頼感や安心感が得られるということ。また承認の大切さから、その効果や効果的な成果を得るための方法について学びました。様々な演習を交えながらの研修は、実際の場面で意識化できるものとなり大変有意義な時間となりました。研修後、6 グループに分かれ気づきや学びについても情報共有しました。これからの後輩育成の場面や関わりにくい人との場面で活用し、よりよい人間関係つくりに役立てていただきたいと思います。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『看護研究第４回目』研修会実施報告

日時　　：令和元年 10 月 5 日(土)9：00～16：00
対象者　：卒後４年スタッフ 11 名　アドバイザー2 名　部署研究スタッフ２名
参加者数：15 名
目的　　：看護研究の取り組み方法と実際を知り、看護の創造性を養う事ができる

## ＜講師の紹介＞

前回に引き続き、山陽学園大学中木里実先生、順天堂大学 平岡玲子先生にご指導いただきました。
そして、畿央大学　福森貢先生にも午前の研修をご指導いただきました。

## ＜内容＞

午前中は福森先生にデータの分析方法等についてご指導いただき、アンケートで収集した結果が十分活かせるように、検定の方法や分析の仕方など細部にわたって助言をいただくことができました。7 月に提出した倫理審査をすべてのグループが通過し、研究データの収集が始まりました。研修生は、データ収集と並行して作成していた論文の「はじめに」から「研究方法」までのプレゼンテーションを行い、講師の先生方から助言を頂きながら活発な意見交換が行われました。

午後からはグループワークを中心に行い、データの集計や分析を進めていきました。研究発表まで研修もあと１回となりました。論文完成に向けグループで協力して頑張ってください。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『リーダー研修』
# 研修会実施報告

日時　　：2019 年 9 月 13 日（金）　　8：30～16：15
対象者　：14 名
参加者数：14 名
目的　　：チームリーダーとしての役割を理解し主体的なメンバーシップを発揮できる

## ＜講師の紹介＞

リーダー研修　：４A　　主査
　　５B　　看護師

BLS 研修　　：２A　　看護師

## ＜内容＞

今回の研修は午前中リーダー研修、午後 BLS 研修が行われました。

リーダー研修では、「リーダーとは」についての講義、性格の自己分析、他者分析、グループワークが行われました。講義ではスタッフや医師とのコミュニケーションや、信頼関係を築くことの大切さ、リーダーシップを発揮するために積み重ねの努力が必要だということを学ぶことができました。性格分析では、自分の性格を他者が見たときの違いや、どのようなリーダーが信頼を得る事が出来るかなどを知る機会となりました。グループワークでは、チームワークの必要性やリーダーシップの重要性について学ぶことが出来ました。午後からの BLS 研修では、チームに分かれて急変時のリーダーとしての役割について講義がありました。リーダーは病棟全体を把握して人をまとめ、動かす能力と的確な判断力が必要だということを実践を通して学ぶことが出来ました。

リーダーを始めることに対し漠然と不安があった研修生ですが、今回の研修を受けてリーダーに必要な能力や役割が具体的にイメージできたと思います。今後リーダーが始まると、色々な悩みや壁にぶつかると思いますが、先輩看護師の指導をうけながら経験を積み、今回の研修で感じた今の思いを大切にリーダー業務に臨んでほしいと思います。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『エンゼルケア研修』
# 研修会実施報告

日時　　：2019 年 9 月 7 日（土）　　8：30～15：00
対象者　：36 名
参加者数：36 名
目的　　：死後ケアの技術の理解を深めるために、標準予防策の考え方、エビデンスに基づいた理論を学び実践に活かすことが出来る。

## ＜講師の紹介＞

有限会社エル・プランナー
美粧衛生師・死後ケア専門看護師
橋本　友希先生

1998 年看護師免許取得。
2010 年有限会社エル・プランナーに入社。死後ケア・メイク業務を行う。ICHG 研究会に所属し環境感染ならびに感染予防策を学ぶ。看護師出版社、エル・プランナー主催の講師を務める。

## ＜内容＞

今回の研修は美粧衛生師・死後ケア専門看護師の橋本友希先生をお招きし、死亡直後の遺族ケア、根拠に基づくエンゼルケア、死後変化を理解したうえでのエンゼルメイクを題材とした講義形式で行われました。

死亡直後の遺族ケアでは、看護師の関わりが遺族の受容に大きな影響を与えるため看護師は遺族心理に合わせた方法を行うことが必要である事を学びました。根拠に基づくエンゼルケアにおいては、病院でエンゼルケアを行い家に帰った後、出血や体液が流出しているケースを実際の映像を交えながら、死後処置の提議や標準予防策、医療器具抜去後の処置、腔部の詰め物、消毒薬の選択について学びました。死後の人体で起こる変化に対する間違ったケアが、遺体への不利益を与える事が理解出来ました。エンゼルケアは、家族の心情に寄り添うメイク、死後変化とメイクについての講義でした。エンゼルメイクは死後の変化を理解した上で保湿が必要であり、何よりもその人らしい生前の状態に合わせたメイクを家族へ確認しながら行う事が大切であると学びました。今回の研修では、今まで自分が行ってきたエンゼルケアを振り返る事が出来ました。看護師のエンゼルケアが遺族へのケアに繋がる事、遺族の心情を理解した上でエンゼルケアを行うことの重要性、正しい知識で行う事の必要性を学ぶことが出来ました。今回の学びを各部署に伝授し、正しい知識と技術で今後のエンゼルケアを実践していただきたいと思います。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『フォローアップリーダー研修』
# 研修会実施報告

日時　　：令和元年８月２日（金）０８：３０～１２：３０
対象者　：卒後４年
参加者数：１２名
目的　　：自分の役割を理解し、リーダーシップを発揮することができる。

## ＜講師の紹介＞

３Ａ　係長「リーダー研修の振り返り」
４Ｂ　係長「タイプ別コミュニケーション」
外来　係長「苦情・クレーム対応」

## ＜内容＞

対象者全員が現段階でリーダー業務を経験している時期での研修となりました。グループワークでは同じような悩みを抱えている時期でもあり、リーダー業務を行ってみてどうであったか、心掛けていること、困っていること、理想のリーダーなどについて意見交換をしました。リーダーとしての自分を振り返り、情報共有することができたと思います。コミュニケーションスキルでは、４つのタイプ別の特徴や傾向について学び、まずは自分を知りお互いのタイプにより相手に効果的に伝わるようコミュニケーションをとり信頼関係を構築していく事が大切であることを学びました。苦情・クレーム対応では実践を踏まえながら相手の思いや気持ちを受け止め、誠意を持って対応することが医療の質を高め信頼関係を築けることを学びました。今回の研修を活かしてリーダーシップを発揮し、今後リーダーとして日々成長されることを期待します。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『チームメンバー研修』
# 研修会実施報告

日時　　：令和元年　7 月　29 日
対象者　：31 名
参加者数：32 名（一般参加者 1 名）
目的　　：1.フィジカルアセスメントの意義を理解し EBN に基づいた看護が提供できる
　　2.実地指導者として役割モデルとなる行動ができる

## ＜講師の紹介＞

放送大学大学院文化科学研究科
生活健康科学教授　山内　豊明先生

1985 年新潟大学医学部を卒業され医師として勤務されたのち、1997 年アメリカでナース・プラクティショナーの免許を取得される。帰国されてから 2002 年名古屋大学医学部基礎看護学講座教授を経て現在の放送大学で活躍されている。当院においても 20 年近く講師として「フィジカルアセスメント」「必要度」研修の講義をされている

代表的な著書
「フィジカルアセスメントガイドブック一目と手とでここまでわかるか」「患者さんのサインを読み取る！山内先生のフィジカルアセスメント　症状編ナース専科 BOOKS」など

## ＜内容＞

今回の研修はフィジカルアセスメントの重要性を再認識できる講義でした。看護の原点ともいえる患者の言葉を聴き、身体に触れ、観察することの大切さや、得た情報を統合的にアセスメントすることの必要性を学びました。また、実際の呼吸音を聞かせてもらい、その違いでどのようなことが身体で起こっているのかを学び、すぐに応用できる内容でした。

卒後 1～2 年生のみならず指導する立場である実地指導者にとっても学び多いものであり、今後の指導に活用できるものでした。それぞれが今後の看護ケアに繋げていけることを期待したいと思います。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『看護研究第３回目』
# 研修会実施報告

日 時　：令和元年７月 13 日（土）
対象者　：卒後４年スタッフ 11 名　部署研究２名
参加者数：16 名（アドバイザー3 名）
目 的　：看護研究の取り組み方法と実際を知り、看護の創造性を養う事ができる

## ＜講師の紹介＞

山陽学園大学　中木里実先生
順天堂大学　　平岡玲子先生
１回目に引き続きご指導いただきました。

## ＜内容＞

今回は１回目の講義で学んだ研究の進め方に沿って、グループ毎に事前課題の看護研究計画書についてパワーポイントで発表しました。先生方よりパワーポイントを使って行う発表方法や計画書の内容を確認していただきアドバイスを頂きました。その後、グループワークでさらに内容を深め先生やアドバイザーに積極的に助言を求める姿がみられました。研修時間を有効に活用して内容を進めることができました。

現在、倫理審査申請中のため最終確定ではありませんが、各グループのテーマを紹介します。
1 グループ「小児科病棟の点滴管理に関するパンフレットの見直し・改善と説明方法の統一」
2 グループ「インシデント予防を目的とした KYT の導入に向けて～カンファレンスの在り方の検討～」
3 グループ「新人看護師のストレス要因についての実態調査と対処方法の文献検討」
4 グループ「A 病院におけるプリセプティが求める精神的支援と現状の相違」
今後、関係部署の皆さんにご協力をお願いすることもありますが宜しくお願いします。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『アンガーマネジメント研修』
# 研修会実施報告

日時　　：令和元年　６月　２２日（　土　）０８：３０～１６：００
対象者　：係長（看護師・介護福祉士）
参加者数：24 名
目的　　：中間管理職として上手に怒りの感情とつきあいながら、適切な問題解決やコミュニケーションに結びつけることができる

## ＜講師の紹介＞

労務コンサルティング R&L　代表
井上　基子先生

2007 年　奈良市で社会保険労務士事務所を開業
現在は、社会保険労務士・産業カウンセラー・医療労務コンサルタントとして各企業での就業規則等各規定や相談労務に関する相談、アドバイスを行われています。また、行政・企業・病院・学校などでもハラスメント研修を行うなど多岐わたりご活躍されています。
当院でも毎月第１木曜日、私たちが心よく働けるよう「さくらるーむ」で支援してくださっています。

## ＜内容＞

まず、最初に「あなたは自分の事が好きですか？」のテーマから始まりました。スティーブン R・コビー氏の「7 つの習慣」をもとに夢の 100 リストの記入や未来の自分を思い描く作業の文章化、時間管理マトリックス、また二人一組になりアサーティブ技術を用いたコミュニケーションスキルなど様々な講義をして頂きました。その中で『自分自身を大切にする』事の必要性を学ぶ機会となりました。

午後からは、アンガーマネジメントについて講義していただきました。怒りの連鎖を断ち切るために、全ての人が自分の感情に責任をもつ事の重要性を知る学びの多い研修でした。今回の研修をもとに自分も相手も大切にし、中間管理職としての役割を発揮されると思います。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『ナーシングエイド研修』研修会実施報告
# 医療安全・BLS 研修

日時　　：１）令和元年６月１８日　　２）令和元年６月２６日
対象者　：ナーシングエイド　介護福祉士
参加者数：３６人
目的　　：１）医療サービスの提供者として、ＫＹＴ（危険予知トレーニング）やインシデントレポートの重要性を再確認し，実践する
　　２）急変発見時の初動が的確にできる

## ＜講師の紹介＞

| | |
|---|---|
| 医療安全対策室 | 副看護局長 |
| ４Ｂ病棟 | 介護福祉士 |
| ３Ａ病棟 | 看護師 |
| ２Ｂ病棟 | 助産師 |

## ＜内容＞

研修の前半は医療安全についての研修でした。ＫＹＴ（危険予知トレーニング）ではＫＹＴの重要性，アクシデントは１つの要因だけではなく，多くの要因が重なった時に発生しやすい。危険の対象は患者だけではなく，私たち医療従事者全員が対象であるということを学びました。ナーシングエイドには今後，患者への対応姿勢を改めて確認し，危険因子を排除するための感性を高めてほしいと思います。
後半の BLS 研修では，胸骨圧迫を行う際のポイント（位置，深さ，早さ，リコイル）に注意しながら，人形を使い繰り返し実施する事ができました。また，急変時には早い時間での人、物を集める事の重要性も学ぶこともできました。BLS 研修に昨年より参加されている方からは昨年より手技が上手く行えたとの声もあり、継続して行う事の重要性を感じました。今回の研修内容を今後の業務にも活かしてほしいと思います。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『プリセプティ研修（ステップⅠ）』
# 研修会実施報告

日時　　：令和 元年　6 月　6 日
対象者　：卒後 3 か月
参加者数：14 名
目的　　：チーム内での自己目標が明確になり自己の成長に繋げる。

## ＜講師の紹介＞

新人教育委員会メンバー
　４Ｂ病棟　主査
　５Ａ病棟　看護師

## ＜内容＞

各部署に配属後、どんなことができるようになったか、困っている事はないかの情報共有や、学生と新人看護師の相違点を話し合い、学生から社会人としての役割の移行が理解できました。また、新人看護師に必要な 10 の事についてグループに分かれて話し合い、それぞれの項目について何が大切かを発表していただきました。

最後に、6 か月後・1 年後・3 年後・5 年後の自己の目標について、自分はどうありたいかをそれぞれで考えてもらい、言語化し皆に発表することで目標をより明確にすることができました。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『看護研究第２回目』
# 研修会実施報告

日時　　：令和元年６月１日（土）
対象者　：卒後４年スタッフ 11 名　部署研究１名
参加者数：15 名（アドバイザー3 名）
目的　　：看護研究の取り組み方法と実際を知り、看護の創造性を養う事ができる

## ＜講師の紹介＞

畿央大学　健康科学部 理学療法学科
教授　福森 貢 先生
1983 年 近畿大学理工学部卒業
日本制御機器株式会社でハード・ソフトウエアの設計・開発
1999 年 京都市立福知山市民病院附属
看護専門学校　非常勤講師
国立病院機構舞鶴医療センター付属
京都看護助産師専門学校　非常勤講師
2005 年 畿央大学 専門：ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ・統計学・情報学
当院では 2010 年より看護研究講師としてご指導頂いています。

## ＜内容＞

統計の基礎知識や仮説検定による統計処理の方法をわかりやすく講義していただきました。講義では福森先生オリジナルの統計処理ソフトを使用させて頂き、仮説検定の意味や活用方法を学びました。さらに例題を用いて検定方法を体験し、学びを深めることができました。
研究グループごとに、事前に考えていた統計処理方法で行ってよいのかを先生に確認でき、これから自信をもって研究を進めることができると思います。今回の研修で学んだことを活かして頑張ってください。

看護局スキルアップ委員会ニュース

# 『看護研究第１回目』研修会実施報告

日時　　：平成 31 年 4 月 20 日（土）
対象者　：卒後 4 年スタッフ 11 名　アドバイザー3 名　部署研究スタッフ 1 名
参加者数：15 名
目的　　：看護研究の取り組み方法と実際を知り、看護の創造性を養う事ができる

## ＜講師の紹介＞

山陽学園大学　中木里実先生
順天堂大学　　平岡玲子先生
先生方には昨年度に引き続き、
今年度もご指導いただきます。

今年度のアドバイザーの方々は、
2B 病棟　　主査
3B 病棟　　主査
中央手術室　係長の 3 名です。

## ＜内容＞

看護研究 1 回目は、まず「看護研究とは何か」「研究テーマを明確にするまでのプロセスシート」等の事前課題もとに、対象者がプレゼンテーションを行いました。そして、各自が考えてきたテーマをもとに 1 年間研究を進めていく 4 グループが決定しました。

グループ決定後、各グループに分かれて文献検索を行い、研究テーマに関する知識を深めるとともに、先行研究の内容を吟味し、自分たちの研究の意義を考える時間となりました。文献検索を行いながら先生やアドバイザーからご指導いただき、積極的に質問しながら研究内容について深めていくことで、「初めての研究で不安だったが今後の方向性について学ぶことができた」等の前向きな意見が聞かれました。研修の後半では、先生から「研究計画書」について講義していただき、今後の課題とともに看護師が研究をする意義と研究の進め方を学びました。

卒後 4 年目スタッフを対象とした看護研究の研修は、1 月の院内看護研究発表を目指し、5 回の研修を予定しています。グループメンバーみんなで協力して進めていってください。

*看護局スキルアップ委員会ニュース*

# 『看護局新人研修会』研修会実施報告

日時　　：平成 31 年 4 月 1 日
対象者　：新人職員
参加者数：19 名
　　（看護師 18 名、助産師 1 名）
研修名　：看護局新人研修会
目的　　：病院職員及び看護局に関する組織について学ぶ。看護業務を行う上で基本となる知識・技術を習得する。

## ＜タイムスケジュール＞

0900　オリエンテーション
0908　看護局　部署紹介　配属発表　辞令交付
1020　看護局長より、理念、方針、新人看護職員研修制度について
1130　看護協会・看護部会について
1200　職員組合について
1300　白衣、シューズの配布　ロッカー案内
1341　免許申請にかる留意事項について
1445　院内集合研修の説明
1350　各委員会紹介
1515　自己紹介
1600　研修修了　質疑応答
　　終了後、配属部署へ

## ＜内容＞

新入職者 19 名を迎え、4 月 1 日、看護師、助産師として第 1 歩をスタートしました。最初に看護局の紹介、続いて部署紹介を行い配属発表そして、辞令交付となりました。工夫の凝らした紹介パワーポイントを見て緊張感の中にも笑顔が見られていました。その後、田中看護局長から理念・方針・新人研修制度の講義を受け、看護協会についてなど様々な研修を終えました。自己紹介では、持ち時間 1 分でしたが、緊張しながらも一生懸命自分の PR をしている姿にとても力強さを感じました。

これから新人教育をうけ、お互い切磋琢磨しながら、自分の目標に向かって邁進してください。これからの活躍に期待しています。

みなさんお疲れ様でした。